



贈呈
理由

ヒートポンプ空調機器の導入により、
大幅な省エネルギー・省コストを実現



個別分散



ヤマハ発動機株式会社 32号館実験棟

「感動創造企業」として世界中に 喜びや驚き、高揚感を提供

ヤマハ発動機株式会社は、1955年に日本楽器製造株式会社（現ヤマハ株式会社）のモーターサイクル製造部門が分離独立し設立。以来60年以上にわたり二輪車の開発を起点とするパワートレイン技術、車体・艇体技術、制御技術、生産技術の4つのコア技術を基に、モビリティ事業に留まらずマリン事業、ロボティクス事業など幅広い事業を手掛けている。

同社は2018年12月に「環境計画2050」を策定し、「低炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の実現に向け、環境保全、省エネルギーなどの環境対策に取り組んでおり、製品のライフサイクルを通じたCO₂排出量を抑制するため、生産工程におけるCO₂排出量を2050年までにゼロにすることを目指している。

蓄熱システムのリニューアル にあたりシステムを刷新

2020年12月に新棟32号館を設立。本棟は、新技術開発や新商品開発に利用されるとともに、人員の集約化による稼働率の向上を目的として建設された。同事業所ではこれまで空調熱源として吸収式冷水機を使用している工場棟もあったが、定期的な保守・メンテナンスが必要となり、手間とコストを課題に抱えていた。また、省エネルギーやCO₂排出量低減による環境負荷低減を図る必要があることから、本棟の空調へは高効率空冷ヒートポンプエアコンの導入を決定した。

空冷ヒートポンプエアコンの導入により温度制御・管理が容易となり、エリアごとの空調が可能になったため、作業環境改善の一助にもなっている。今後は、デマンド抑制機能を活用し、作業環境および経済性・環境

負荷低減を考慮した運用の最適化を試みる。

同社は、今後も世界の人々に新たな感動と豊かな生活を提供するために、変化するニーズ・期待に応え、持続可能な社会の実現に向け挑戦し続ける。



空冷ヒートポンプ

ヤマハ発動機株式会社 32号館実験棟

所在地：静岡県磐田市2500
建築設計：清水建設㈱ 名古屋支店
建築施工：清水建設㈱ 名古屋支店
設備設計：清水建設㈱ 名古屋支店
設備施工：清水建設㈱ 名古屋支店
延床面積：9191.76㎡
竣工：2020年新設

■設備概要

空冷ヒートポンプ（ビル用マルチ）
23台、能力計1.698kW[ダイキン工業]